

「キャリア教育」には何が足りないのか？

—「社会学的労働教育」の必要性—

講演者：筒井美紀さん

(法政大学キャリアデザイン学部教員)

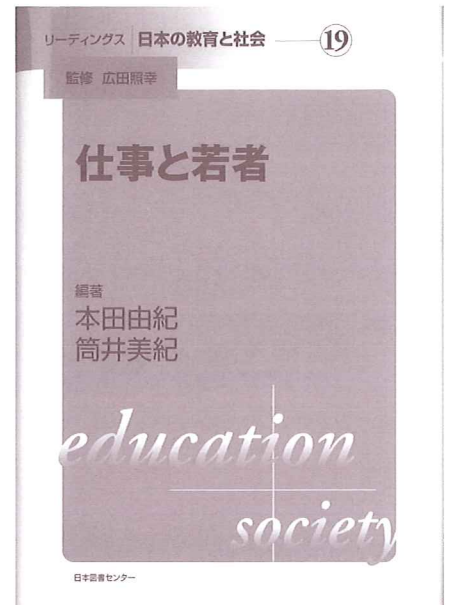
おもな著書：『大卒就職の社会学』（共著、東京大学出版会、2010年）

『仕事と若者』（共編著、日本図書センター、2009年）

『キャリアラダーとは何か』（共訳著、勁草書房、2008年）

●日時／2010年6月21日(月)
18:00～20:00

●場所／日本教育会館 8階 第3会議室



「過労死するなんてバカみたい。自分のことが分かっていないのだ」「三流大学にしか入れず日雇い派遣？ そんなの、勉強しなかった本人が悪い」。

最近、社会学の授業ではこうした大学生の反応が少なくありません。その表現のどぎつさと想像力の欠如に背筋が寒くなります。社会の将来を考えると、危惧を抱きます。いわゆる「キャリア教育」だけでは、このような自己責任論を強めこそすれ、解除はしないでしょ。

では、労働者の権利を知り、労働トラブルに対処できる力をつけようという「労働教育」で補完すれば充分でしょうか？ 否。なぜなら「労働教育」は、下手をすると、自分さえ助かればよい、という受け取り方を許容しかねないからです。不可欠なのは「社会学的労働教育」ではないか？ というのを、一緒に考えてみたいと思います。

入場無料

申込は不要です。
なお、今回より開催時間を18時からとしています。
ご注意ください。

主催

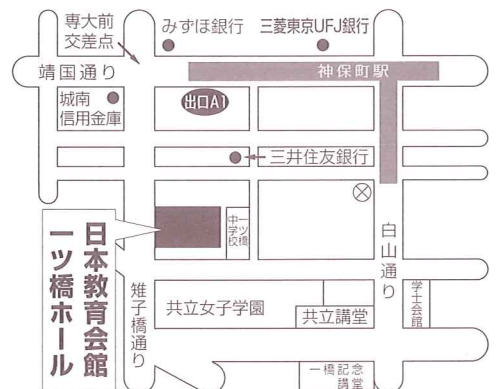
(財)日本教育会館

千代田区一ツ橋 2-6-2

TEL03-3230-2852 (代表)

後援

国民教育文化総合研究所



■交通機関のご案内

都営新宿線・東京メトロ半蔵門線/神保町駅(出口A1)

都営三田線/神保町駅(出口A1,A6,A8)

東京メトロ東西線/九段下駅(6)・竹橋駅(北の丸公園口)

JR水道橋駅西口(新宿寄り)徒歩15分